

## 金沢大学研究テーマ一覧の発行

共同研究の一層の推進を図る目的と、より具体的でわかりやすい研究テーマを示して欲しいという多くの意見に応えるよう、「金沢大学研究テーマ一覧」を発刊しました。「一歩踏み出す」ことが大事と考え、今後、利用者の意見を聞いて、内容充実やより利用しやすいものにしてゆきたいと考えていますので、十分ご活用いただいでセンターまでご意見をお寄せください。

## 知的所有権セミナーの開催

10月16日(月)に金沢大学工学部秀峯会館で「大学等の知的資源の有効活用について—技術移転の多様な試み—」をテーマにセミナーを開催し、多数の参加者がありました。

文部省畿谷研究協力室長による技術移転の動向や必要性等の説明後、弁理士会、JST、特許流通支援センターなどの施策紹介、パネルディスカッションがあり、意識啓蒙に有用なセミナーでした。

## 産学連携推進フォーラムの開催

様々な情報提供等のためセンター客員教官によるフォーラムを金沢大学工学部で開催しますので、是非ご参加ください。申込み等はセンターへ。

11/9:「人と地球を考えたものづくり」

石田秀輝((株)INAX 技術統括部長)

11/13:「実りを求めた産学連携について」

大柿光司(コマツ専務取締役 研究本部長)

11/22:「プラスチックの材料開発と成形加工」

金井俊孝(出光石油化学(株)応用研究所 主任研究員)

11/29:「私の経営」

澁谷弘利(澁谷工業(株) 取締役社長)

12/13:「実のある産学連携に向けて」

嶋田壽一((株)日立製作所中央研究所企画室)

## 金沢大学の産学連携に関する広報誌

- ・金沢大学共同研究センター概要
- ・金沢大学の研究協力制度
- ・金沢大学研究者総覧2000
- ・金沢大学研究者総覧2000(CD-ROM版)
- ・金沢大学研究テーマ一覧
- ・金沢大学共同研究センター

「NEWS LETTER 創刊号」

ご希望の方はお気軽にセンターまでお問合せください。

## 平成12年度の主な活動状況

4月	MEX 金沢2000に出展
5月~	金沢市技術開発セミナーに協力
6月	産官学交流の講演会開催
7月	アントレプレナーセミナー in 金沢大学
8月	産学技術交流促進事業で企業訪問
9月	公開講座「地域に活かす大学の技術—ものづくりからベンチャービジネスまで—」
10月	知的所有権セミナーを開催 北陸技術交流・テクノフェアに出展
11月	工学部80周年記念事業に協力 オープンキャンパス「ふれてサイエンス」 ベンチャープラザ2000石川に協力 産学連携推進フォーラムの開催 サイエンス・アンド・テクノロジーフォーラムに協力

金沢大学共同研究センター  
NEWS LETTER 創刊号 Oct. 2000

発行 金沢大学共同研究センター  
住所 〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-6111 FAX 076-234-4019  
E-mail jim@ccr.kanazawa-u.ac.jp  
http://www.ccr.kanazawa-u.ac.jp

# NEWS LETTER

金沢大学共同研究センター

創刊号

## 大学と地域との 研究協力推進のために



共同研究センター長  
(理学部教授)  
廣瀬幸雄

近年、科学技術の急速な発展と産業構造の高度化・多様化に伴い、大学の学術研究に対して社会の各方面からの期待と要請が寄せられています。

産業界との窓口の役割を担う共同研究センターには、「大学の敷居を無くすこと」、「企業のニーズを生の声として聴くこと」、「大学の行っていることを周知すること」、「共同研究などの研究協力を進めること」からはじまって、「研究成果を社会に活かすこと」、「産業創出に資する研究開発を促進すること」などをスムーズに進めるために、ますます広範な活動が求められています。

共同研究センターでは、産学官連携を進めるため技術相談や各種イベントの企画開催をすると同時に、センター活動を周知するための広報活動を行っています。

具体的には、刊行物として「金沢大学共同研究センター概要」や年2回発行する「金沢大学共同研究

センターニュース」が主なものですが、共同研究センターホームページでもアップデートな情報発信に努めています。

しかし、先程も申し上げたとおり、センターの業務が広範かつ多様になってきていることを踏まえ、金沢大学や本学共同研究センターの情報を適時に地域の皆様にお知らせし、これまで以上に本センターをご利用いただくことを目的として、ここに、「NEWS LETTER」を発刊することにしました。

金沢大学が有する「総合力」を最大限活用することこそ、共同研究センターに求められるリエゾン機能を発揮でき、地域産業振興や新産業創出に結びつけられるキーになると確信しています。地に足のついた産学連携活動と産学相互の日常的な交流が全ての出発点と思い、協力会のたち上げも検討しています。

共同研究センターが「技術と顔が見える連携センター」を目指し、With Youの文字「あなたとともに」をモットーに社会と産官学の連携を推進していこうという以上、角間キャンパスにある連絡橋アカンサスインターフェースの名前のおり、架け橋となる大学を目指しています。

この広報誌が地域の皆様と大学の交流を一層進める場となるよう、ご理解とご支援をお願いいたします。



## 共同研究の弾力的な運用開始

大学での主体的・積極的な産学連携の取り組みが一層推進されるよう、共同研究は以下のような措置で、より実施しやすい運用が開始されています。

- 複数年度契約の締結が可能になりました。
- 大学と企業の各々で共同研究する分担型は共同研究員の派遣が不要です。
- 共同研究実施企業は、増加試験研究税制による特例措置の適用が受けられます。

金沢大学ホームページのトップページから「研究協力情報」もご覧ください。

### 研究協力制度のお問合せ先

金沢大学総務部研究協力課 研究助成係  
〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-6140 FAX 076-234-4016  
E-mail g-kenzyo@ad.kanazawa-u.ac.jp  
http://www.kanazawa-u.ac.jp

## 平成12年度共同研究受入状況一覧 (10月現在)

平成12年度も半ばを過ぎ、現時点で共同研究契約が済み、実施されている共同研究は41件です。申込段階のものも含めれば年度内に70件近くになると予想しています。

工学部、理学部、薬学部、自然科学研究科、医学部、附属病院、教育学部、遺伝子実験施設、共同研究センターなど多くの部局で実施しており、総合大学としてますます幅広い研究シーズをアピールしています。

今後、産官学連携による社会貢献や外部資金導入の必要性の高まりに対して、共同研究センターでは、今年度組織された研究協力課とスクラムを組んで学内外の橋渡しに一層の努力をしています。今年は、共同研究センターでアレンジして生まれた共同研究がかなり増えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。まずはセンターへお問合せを。

※印は分担型

区分	共同研究テーマ	共同研究者	
		民間機関等研究者	大学研究代表者
A	※ソフトウェアの教育利用におけるカリキュラム開発に関する研究	株式会社メディアファクトリー	教育学部 助教授 中川 一史
A	※地上デジタル放送の小学校における利用形態に関する研究	(株)富士通北陸システムズ	教育学部 助教授 黒上 春夫
A	※ヒトCD+リンパ球由来生理活性物質の機能とその精製法に関する研究	日本ケミカルリサーチ株式会社	医学部 教授 市村 宏
B	※TICN 膜の材料評価に関する研究	フジタ技術株式会社	教育学部 助教授 佐々木敏彦
B	※学校放送番組研究「インターネットスクールたったひとつの地球」	(株)NHKエデュケーション・デジタル事業部	教育学部 助教授 黒上 春夫
B	※都心型木造三階住宅の工法及び外壁材に関する基礎的研究	株式会社じゅう・総合計画研究所	理学部 教授 廣瀬 幸雄
B	※交感神経節神経細胞に発現するカリウムイオンチャンネル及び伝子クローニング	山之内製薬株式会社	医学部 教授 東田 陽博

区分	共同研究テーマ	共同研究者	
		民間機関等研究者	大学研究代表者
B	※術前に関する共同研究	花王株式会社化学品研究所	医学部 教授 真田 弘美
B	※造影MRアンギオ撮影の診断能及び検査効率の向上	GE横河メディカルシステム(株)	病院 教授 松井 修
B	※太陽エネルギー利用による全館空調改質システムの試作	協同組合エコアース	薬学部 教授 早川 和一
B	※組織細胞トランスポーター群の分子認識・輸送の多様性を利用した薬物体内動態制御システムの開発	大塚製薬株式会社	薬学部 教授 辻 彰
B	※電波セキュリティシステムの研究開発	株式会社テクノピア	工学部 助教授 八木谷 聡
B	※局所酸素代謝調節に関する研究	バイオメディカルサイエンス株式会社	工学部 教授 山越 憲一
B	※製膜プロセス理論解析・膜延伸工程理論解析 Part 2	富士写真フイルム株式会社	工学部 教授 山田 敏郎
B	※日本人用の新しい人工股関節の基礎的研究とその実用化	ブリストル・マイヤーズ・スクイブ(株)	工学部 教授 尾田 十八
B	※反発浮上形磁気軸受小型化に関する研究	(株)リコー研究開発本部	工学部 教授 山田 外史
B	※ウェハー熱処理用 Hotplate の温度分布解析	京浜測器株式会社	工学部 教授 山田 敏郎
B	※メカトロソロボ技術の研究	神電工業株式会社	工学部 教授 神谷 好承
B	※円柱状構造物に作用する流体力の予測と設計基準に関する研究	(株)原子力安全システム研究所	工学部 教授 岡島 厚
B	※フライアッシュを用いたポーラスコンクリート製品の開発	株式会社ホクコン	工学部 教授 鳥居 和之
B	※非線形磁気応用装置基礎研究	(株)日立製作所	工学部 教授 山田 外史
B	※手首における連続血圧測定法の研究開発	(株)オムロンライフサイエンス研究所	工学部 教授 山越 憲一
B	※レーザアブレーションによる光IC要素技術に関する研究	太陽誘電株式会社	工学部 助教授 森本 章治
B	※POF光通信システムに関する研究	太陽誘電 マイクロシグナル(株)	工学部 助 手 深山 正幸
B	※室内汚染ガスの除去技術に関する研究	ダイデン株式会社技術研究所	工学部 教授 江見 準
B	※異厚合わせガラスの強度評価に関する研究	旭硝子株式会社	工学部 教授 尾田 十八
B	※鉛蓄電池電源設備による夜間電力を利用した省電力及びピークカット効果を持つ装置の開発	合資会社ニュー・アンド・エス	工学部 教授 森 茂
B	※Y P鉄塔構造部材及び塔体の風力係数に関する研究	日本鉄塔工業株式会社	工学部 教授 岡島 厚
B	※CBN工具による鉄鋳体の高速エンドミル加工に関する研究	住友電気工業株式会社	工学部 教授 上田 隆司
B	※酸蝕ガラス砂を骨材に用いたコンクリートのアルカリ骨材反応抑制に関する研究	石川県工業試験場	工学部 教授 川村 謙紀
B	※通信波長帯発光素子用 Er:Pr 系材料の研究	日本電信電話(株)フォトリソクス研究所	工学部 教授 清水 立生
B	※セルロース誘導体の接着結合材への応用に関する研究	石川県エコ製品開発共同組合	工学部 教授 中本 義章
B	※高摩速力を有する杭の構築方法に関する研究	株式会社ショーワ建商	工学部 教授 宮島 昌克
B	※1軸制御軸受型磁気軸受の小型化	理学電機株式会社	工学部 教授 山田 外史
B	※低温X線装置の開発	理学電機株式会社	自然・理 教授 鈴木 治彦
B	※粘土鉱物の構造に関する基礎的研究	日本ポリケム株式会社	自然・理 助教授 佐藤 努
B	※有害物質の自然浄化に関する基礎的研究	東邦レオ株式会社	自然・理 助教授 佐藤 努
B	※環境ホルモン、ダイオキシン類のスクリーニング技術に関する研究開発	株式会社エンバイオテック・ワボワトリーズ	自然・薬 教授 正宗 行人
B	※盛土内に設置するボックスカルバート(共同溝)の設計・施工に関する研究	前田建設工業株式会社	共同七 助教授 後藤 裕
B	※生土壌土のボード化に関する研究	有限会社エム・イー・シー	共同七 教授 廣瀬 幸雄
C	※クローン牛の遺伝子解析	石川県	遺伝子 教授 山口 和明